

Vol.105 No1
2014.7.4

農職組ニュース

茨城大学農学部
労働組合

第105期執行部です

2014年6月～2015年5月まで、どうぞよろしくお願いたします

執行委員長&阿見事業場過半数代表者 田附明夫

このたび今年度の執行委員長をおおせつかりました。はなはだ不慣れではありますが、一年間よろしくお願いたします。

早速、勉強がてら6月1日に上野で開かれた全大教関東甲信越地区の単組代表者会議に行ってみました。印象としては、いわゆる労組特有の言い回しとかは余りなく、大学人らしいフランクな姿勢に好感が持てましたが、会議で何か積極的な成果を上げるかという点でははなはだ不十分に感じました。

午前中は急遽企画された学校教育法「改正」問題の学習会でした。講師は教育法制の専門家で、戦後最大の法改正になるが、独法化のときと比べて反対運動が鈍く、反対署名もその時点で4000位しか集まっていないとのことでした。このアンケートにつきましては、先日メールで組合員の皆様にお知らせしたところです。いくつかの大学の単組では反対アピールを行ったところもありました。その後、6月20日の参議院本会議で学校教育法と国立大学法人法の改正案が成立してしまい、来年4月からの施行となります。その結果、教授会のあり方が大きく変わっていくことになると思われます。これに対する全大教の抗議アピールは皆様にメール配信したところです。講師によれば、法律が成立してもその後の反対運動によっては施行のあり方を変えられる可能性があるとのことでしたので、引き続き取り組んで行きたいと思ひます。

午後の会議の交流会では、主に年俸制の問題について議論されましたが、各大学とも中期計画に絡んで改組が進められており、年俸制の導入を取引条件に改組を認める文科省の姿勢があると報告されました。

このように、最近になって、茨城大学だけでなく国立大学をとりまく状況が急速に変わってきています。これは憲法解釈の変更など現政権の強引な手法に財務省、文科省が乗ったものかもしれません。学習会でソ連崩壊後の労働運動の弱体化の原因について総括できているのかと質問したところ、講師の人は「自分は全大教を代表するわけではないが、できていないと思う」とのことでした。そこで、労働運動も従来型の型に囚われない試行錯誤が必要かもしれません。少なくとも他大学の情報を知る場として組合は有効な役割を果たせるかもしれません。

今年度の課題に関しましては、労使協定、団体交渉等まだ十分に理解しておりませんが、これまでの積み上げをふまえて取り組んで参りたいと存じます。特に、独法化以降増加した非常勤や派遣職員の組合への組織化等を通じて、組織率の向上と阿見地区労働者の交流と権利向上を目指したいと存じます。



副執行委員長 森 英紀

このたび副執行委員長をつとめさせていただくことになりました森です。組合に加入して、約35年になりました。先日の第一回執行委員会で組合員の名簿を拝見しましたが、事務系職員の少ないことにびっくりしました。法人化後は、阿見事業所の全教職員の過半数が農学部労働組合員であれば、執行委員長は過半数代表者として直接使用者（学長と理事）へ意見を述べることができます。また、安全衛生委員会への労働者側委員を推薦することもできます。つまり、組合員の労働条件や労働環境に対する要望が反映されやすくなりますので、事務系職員の組合への加入が必要だと考えられます。安全で健康に安心して働ける職場を目指して、1年間がんばりたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

書記長 長南 茂

書記長を務めさせていただくことになりました長南です。世間では経済が上向きになり、大手では給与のベースアップ、夏のボーナス増のようです。われわれの給与、ボーナスもそろそろ上向きになるのでしょうか……。とりあえず特例法の7.8%減額が終わり、地域手当が8%で維持されているため、なんとなく給与が上がったような気分になっております。9月から学長も変わります。賃金、雇用形態など生活の根幹となるものに関しては、特に気を付けて組合員みなさんに正確な情報をお伝えして、不利益を被らないよう努力したいと思います。一年間よろしくお願いいたします。



庶務委員（情宣） 深谷美架

第105期の庶務委員を務めさせていただきます。労働組合の活動について考え、学び、行動し、楽しく活動していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

庶務委員（会計） 前島千恵

今年度庶務委員（会計）を務めさせていただくことになりました会計係の前島です。

職場環境で改善してほしいことがありましたら、気軽に



新組合員のご紹介コーナー

はじめまして。今年の4月に地域環境科学科に着任しました。日本の農業政策・農業経営について、フィールドワークに基づいた研究をしています。茨城県は農業生産額全国第2位の農業県であり、また米から園芸、畜産まで多様な農業が広がっています。豊かな現場を生かした教育・研究をしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

●-----● (地域環境科学科 西川邦夫)

皆様、こんにちは。昨年2月から農学部でお世話になっております、小久保です。重点研究のひとつであるバイオ燃料社会プロジェクトの非常勤研究員として参りました。おもにスイートソルガムの栽培に関する研究をしています。大学院の修了後初の勤務で、もちろん組合への参加も初めての事です。勉強させていただきます、よろしくお願いいたします。

●-----● (バイオ燃料社会プロジェクト 小久保敏明)

4月から地域環境科学科でお世話になっております。どうぞよろしくお願いいたします。私の生まれは信州で、実家には田んぼがあり、私自身も代掻き、稲刈り、脱穀などに従事しております(半農半教授?)。これまで、大阪→愛知→東京→茨城→北海道→茨城と転居を重ねてきましたが、最も長く暮らしているのが茨城です。ですから茨城大学農学部で働くことができ、大変うれしく思っております。さて職場環境については、予算削減、賃下げ、事務の多忙化など、多くの問題があると聞きます。これらの課題を皆様と一緒に考え、活動して参りたいと思います。

●-----● (地域環境科学科 福与徳文)

皆さま、こんにちは。昨年9月より、組合の仲間入りをしました。これからは組合の会合などには積極的に参加していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

●-----● (資源生物科学科 西澤智康)

労働金庫より(中央労金土浦支店限定)

エース預金 夢実現キャンペーン!

(期間 2014年6月2日~2014年7月31日)

☆ 毎月の給料から天引きできます。(いつの間にか貯金ができています)

☆ 毎月5,000円以上のお積立額で新規契約された方

毎月5,000円以上お積立額を増額された方には・・・

500円分のクオカードプレゼント!

■お問い合わせ・お申込みは：農学部労働組合 or 労金土浦支店(821-6010)

第 104 期組合大会議事要旨

開催日時：5月28日（水）12：10～12：55 場所：農学部第一会議室
議長：井上先生 書記：吉田先生 大会運営委員：坂上先生・路川さん
来賓：中央労金土浦支店次長 笹目氏

1. 開会：坂上先生が39名の出席により大会が成立していることを宣言。
2. 議長：執行委員長の推薦で井上先生に。 書記：執行委員長の推薦で吉田先生に。
3. 来賓あいさつ： 中央労金土浦支店長代理 支店次長の笹目氏より
11年前に茨城大学組合を担当した。毎年、茨城大学の学生さんが中央労金に就職している。今年はエルニーニョ年にあたり、万が一の災害の備えとして、中央労金では災害ローンなども用意している。配布資料は車のローンに関するもので、ディーラーの安い保険に対応した変動金利によるものであり、是非加入をお願いしたい。支店長名でお祝いの贈呈が報告された。(5,000円)
4. 第104期活動報告（小松崎委員長） ……1年の活動を通して組合の重要性を理解。今激動の時代であり、ますます組合の活動が重要になると思われるとコメント。活動報告書で報告。
 - (1) 組合の財政についての検討
 - ・経費節減にも取り組む必要があるが、将来的には値上げが必要と考えられる。
 - ・今期は震災対応の減額が解消されるタイミングが確定ではなかったため、値上げのメリットとデメリット、変動幅について検討した。
 - ・全大教組合費納入は現在多くの組合が半額減免の申請をしている状況。
 - (2) 組織率拡大について
今年3月に4名が退職したが4名が新たに加入。ティーパーティーの開催が功を奏し、組織率が3.3%向上した。
 - (3) 役員任期については、任期中に1名が退会したが、任期の変更は必要ないと判断。
 - (4) 団体交渉について
以前は3地区（阿見・水戸・日立）が事前に打ち合わせをして交渉に臨んだが、近年は行っていないようである。昨年度は水戸とは一度打ち合わせをしたが、事前打ち合せ等で結束力を高めていく必要がある。
 - 1) プロジェクト研究員について、震災による賃下げについて
 - 2) パートタイム職員の雇用について
 - 3) 育児休業について
 - (5) 職場懇談会の開催： 教官・職員・非常勤に分かれて開催し意見交換を行った。
 - (6) 女子会の開催： 非組合員も含めた意見交換の場として開催され歓迎された。
 - (7) 全大教の定期大会・教研集会・代表者会議： 資料に基づいて報告された。
 - (8) 賃金の減額問題
平均7.8%減額について、粘り強く対応し、H26年4月から賃金が回復し、地域手当についてもH27年12月までは8%を維持することができた。

(9) 雇止め問題について

3年ルール、5年ルールが適用されている状況の中で、再応募ができるように情報を入手できるような改善が図られた。

(10) メーデーへの参加

(11) 鍬耕祭への参加(バザール、コーヒーショップ)

(12) 送別会： 今年は昼に開催。多くの組合員が参加されたとの報告があった。

*最後に、執行部役員から一言ずつ挨拶があった。

*今期の活動に対する質問は特になかった。

5. 第104期会計報告 …… 第104期会計委員 (上妻書記長)

第104期会計監査報告 …… 第104期会計監査委員 (長澤委員)

通信費については別項目にしたほうが分かりやすいのではないかという意見があった。

決算報告の内容に反対はなく、第104期活動報告・決算報告が採択された。

6. 第105期役員・代議員の選挙結果報告…… 第104期選挙管理委員 (白岩委員長)

各5名の役員・代議員立候補と選挙結果について報告があった。

7. 第105期会計監査委員の承認 …… 小松崎前委員長より小張先生、牧山先生の推薦があり承認された。

8. 第105期役員紹介 …… 第105期執行部 (田附委員長)

第105期代議員紹介 …… 第105期代議員 (小松崎代議員長)

9. 第105期活動方針案提案…… 第105期執行部 (田附委員長)

新委員長より活動方針の提案があった。今期の方針を引き継いで団体交渉を行う。労働協約についても引き続き検討を行う。雇止めについてもしっかりとした回答を得られるよう努力する。職場懇談会、女子会なども開催していく。賃金の特例法については深刻な問題であるので力を入れて取り組んでいきたい。強引に進められている大学改革において年俸制などが検討されているが、組合としても積極的に検討を試みたい。近年、非常勤の方々が増えているが、労働条件の改善が得られるように努力したい。

10. 第105期予算案提案 …… 第105期会計委員 (前島会計委員)

資料に基づき、会計委員より予算案の提案がなされた。

特に反対意見はなく、第105期活動方針案・予算案が承認された。

11. 新組合員紹介 (前大会以降) …… 小久保さん、西澤先生、西川先生、増富先生、福興先生、大津さん

新組合員より一言ずつご挨拶が行われた。

12. スローガン提案、採択 …… (深谷執行委員)

スローガンが読みあげられ、拍手で採択された。

閉会 …… 大会運営委員 (路川委員)

以上